

## 2021年度 事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人エル・システムジャパン

### 1. 事業実施の方針

コロナ禍による影響を配慮しつつ、昨年度に続いて相馬市、大槌町、駒ヶ根市と締結されている「音楽で生きる力を育む事業」に関する協定書に基づき、下記の事業を実施した。なお、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場）、及びトット基金と共同で東京ホワイトハンドコーラス事業も行った。「これらの事業実施、モニタリング、及び、評価、必要な各種広報、資金調達、調査活動を計画する。

### 2. 事業の実施に関する事項

非営利型の一般社団法人法に関わる事業を実施する。

#### 相馬事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額（千円）	支出額（千円）
子どもオケ、コーラスの運営	約70人が参加する弦楽器教室、及び管楽器教室は基本、水曜夜、木曜夜、土曜、日曜に実施。約10人参加のコーラスは日曜での合同練習を実施。	4～3月	市民会館、防災備蓄倉庫、他	市内小中高校の児童生徒	18,810	21,215
鑑賞教室、授業、放課後活動等の学校支援	中一小、八幡小における放課後クラブ活動、及び市内各校授業における合唱指導、鼓笛隊指導、鑑賞教室を中心に支援を行う。	4～3月	市内対象小中学校	市内小中学校の児童生徒	2,000	1,000
子ども音楽祭	設立10周年を祝うことも含め第7回子ども音楽祭を3月に開催予定だったが、地震で5月に延期。	新年度5月	相馬市民会館	相馬子どもオケ&コーラス、地域内吹奏楽部員	3,000	2,852
各種交流活動	9月24日の東京ニューシティフィル演奏会@紀尾井ホールには、緊急事態宣言下で不参加。8月に実施予定だった那覇ジュニアオケとの交流事業は3月に延期の末、実施。	7～3月		相馬子どもオケ&コーラスメンバー	500	0

## 大槌事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
弦楽器教室の運営	平日午後、夜(木曜)は教育センター、吉里っ子センターでは平均5~15人が参加。週末(土曜)は、終日教室を実施。外部講師の訪問は限定的だったが、オンラインでの教室運営が軌道に乗った。	4~3月	教育センター、吉里っ子センター、沢山地区集会所、浪板ビレッジ	左記の幼保、小中学校の児童生徒	6,000	6,364
町内学校吹奏楽活動への支援	定期的に行っていた中高吹奏楽部への技術支援は、訪問は限定的で、基本オンラインでの実施となった。	5~3月	町内対象中高、波板ビレッジ	左記の小中高の児童生徒	2,900	100
町内でのその他音楽教室活動	平日午後、週末に、町内のスタッフで指導が可能な、ギターやドラムの少人数の教室を行ったことに加え、町内の福祉施設との連携により、楽器体験教室を行った。	4~1月	ぽこあぽこ、波板ビレッジ	町内の小中学生	5,000	4,800
各種交流活動	子どもオケ主体のクリスマスコンサートを町内で実施した。交流や外部からの招待も、時期的に可能であった。	12月	町文化センター	幼保、小中高の児童生徒	900	200

## 駒ヶ根事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
弦楽器教室の運営	土曜日に、少人数のクラス編成にて教室を実施できたが、多くがオンラインやSNSを使った個別指導や自主練習となった。	4~3月	赤穂公民館、市文化センター等	市内小、中の児童生徒	6,000	7,232
活動成果の発表	弦楽器教室に参加する子どもたちにとっての成果発表会は長野県内のコロナ感染状況より中止となった。	3月	赤穂公民館	市内小、中の児童生徒	400	0

## 東京事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
ホワイトハンドコーラスの運営	約 20 名の声隊は、オンラインの練習をメインに、対面と組み合わせながら教室を開催した。ろう者のより主体性を追求する活動をトット基金主催で実施、子どもや若者を対象としたクリエイティブ・ワークショップも、年度後半に行った。	6 ～ 3 月	東京芸術劇場	首都圏内盲、ろう学校児童生徒	8,500	7,610

## 広報資金調達事業

事業名	事業内容	期間	支出見込み額(千円)	支出額(千円)
各種広報・資金調達活動	各種広報（HP、広報物作成）関連業務	4～3 月	2,000	2,764
	資金調達（企業連携促進、個人寄付マーケティング）関連業務	4～3 月	2,000	1,907
	各種旅費、経費	6～3 月	2,000	498